

# 「郷土の偉人顕彰コーナー」設置場所

上越 先人 No.	出身地域	コーナー設置場所	氏名	ふりがな	生没年	主な業績	
1	合併前の上越市	上越市立歴史博物館では、すべての先人61人を対象に、定期的パネルの入れ替えをしています。	荒井 賢太郎	あらい けんたろう	1863	1938	農商務大臣・貴族院議員。新潟県出身の最初の大任を務める。
2			有澤 富太郎	ありさわ とみたろう	1875	1944	パテンレースの最盛期を築く。有沢製作所を設立。
3			大森 隆碩	おおもり りゆうせき	1846	1903	眼科医。日本で三番目となる私立高田訓練学校の開校に力を注いだ。
4			小川 未明	おがわ みめい	1882	1961	童話「赤い蠟燭と人魚」などを次々世に送り出した、日本児童文学の父。
5			小田 嶽夫	おだ たけお	1900	1979	第3回芥川賞受賞。現在の『文藝たかだ』につながる『文学冊子』刊行。
6			川合 直次	かわい なおじ	1874	1938	衆議院議員・高田市市長。吟風の号を有し、詩歌などに親しんだ文人政治家。
7			川上 善兵衛	かわかみ ぜんべえ	1868	1944	家産を傾けて岩の原葡萄園を開園し、研究生活に没頭。日本に適した葡萄品種を作出。
8			国友 未蔵	くにとも すえぞう	1881	1960	蔵々発電所を手始めに数々の水力発電所建設を手がける。高田名誉市民第1号。
9			小林 古径	こばやし こけい	1883	1957	新潟県人初の文化勲章受章、日本美術院の中心画的画家として活躍。
10			関野 貞	せきの ただし	1867	1935	建築史学者の立場から、歴史学や美術史、考古学などの分野で功績を残した。
11			古川 長四郎	ふるかわ ちょうしろう	1895	1949	佐渡汽船の設立と直江津港の設備改善に尽くす。
12			前島 密	まえじま ひそか	1835	1919	日本近代郵便制度の父。日本の教育、物流分野の発展にも貢献。
13			室 孝次郎	むろ こうじろう	1839	1903	衆議院議員。全国の鉄道網に先立ち、信越線開通に尽力した。
14			芳澤 謙吉	よしざわ けんきち	1874	1965	高田市名誉市民。戦争の時代、外務大臣を務めた外交界きってのアジア通。
15	安塚区	安塚コミュニティプラザ1階	小熊 善次郎	おぐま ぜんじろう	1847	1907	安塚銀行の設立に尽くし、初代取締役役に就任。
16			塩崎 貞佐久	しおざき ていさく	1852	1914	浦川原塩崎家を継ぐ。兄小熊善次郎とともに安塚銀行に尽力。
17			森成 麟造	もりなり りんぞう	1884	1955	上越郷土研究会を結成し、文化活動にも力を入れた。夏目漱石の主治医。
18	浦川原区	浦川原コミュニティプラザ1階	横尾 義智	よこお よしとも	1893	1963	全国初のろうあ村長。村民に推され小黒村長に選出、12年にわたり務めた。
19			石田 善佐	いしだ ぜんさ	1893	1947	衆議院議員。雪害克服への取り組みから「雪の石田」の異名を持つ。
20			丸田 治太郎	まるた じたろう	1886	1942	台湾へ渡り、台湾製糖の発展の基礎を築いた。
21	大島区	大島コミュニティプラザ2階	村松 苦行林	むらまつ くぎょうりん	1889	1972	下保倉村長。書家、篆刻家、歌人としても活躍した文人村長。
22			山田 あき	やまだ あき	1900	1996	反戦平和の政治運動にも取り組んだ歌人。現代歌人協会名誉会員。
23			飯田 茂勝	いいだ しげかつ	1876	1944	保倉川に発電所を建設し、保倉川電気株式会社を設立。
24	大島区	大島コミュニティプラザ2階	武田 徳三郎	たけだ とくさぶろう	1872	1950	衆議院議員。高田日報で主幹を務め腕をふるった後、地域の鉄道実現を目指した。
25			本山 久平	もとやま きゆうへい	1885	1974	独学で教育の道を切り開き、輪島高等学校創設に力を尽くした。
26			本山 健治	もとやま けんじ	1848	1919	衆議院議員。初期の県会・中央政界で活躍した民権運動家。地域に民権思想を普及。
27	牧区	牧コミュニティプラザ1階	池永 隆勝	いけなが りゆうしょう	1913	1998	日本初の有線ラジオ局開設、地域文化の発信に努めた。牧村教育委員長も務める。
28			西條 太造	にしじょう たぞう	1848	1920	牧油田の開発に力を注ぎ、晩年は牧村長や安塚銀行重役を歴任。
29			小山 壽平治	にしやま じゅへいじ	1870	1912	牧村長・県議会議員。農業改良事業に取り組むなど、地域振興に尽くした。
30	柿崎区	柿崎地区公民館1階	小林 富次郎	こばやし とみじろう	1852	1910	東京で開業した小林富次郎商店がライオン街に発展。
31			篠田 宗吉	しのだ そうきち	1826	1903	稲代の名棟梁。番神堂や、浄興寺本願など多くの寺社にその名を残した。
32			竹越 與三郎	たけごし よさぶろう	1865	1950	衆議院議員。文筆家として『日本経済史』を刊行するなど、多くの著作を残す。
33	大潟区	大潟コミュニティプラザ1階	笠原 克太郎	かさはら こくたろう	1838	1898	衆議院議員。地域の鉄道敷設・築港計画を推進し、産業経済の発展に力を注いだ。
34			小池 仁郎	こいけ にろう	1866	1936	単身北海道に渡りサケ・マスの人工孵化に取り組む。
35			小山 作之助	こやま さくのすけ	1864	1927	作曲家。代表曲として「夏は来ぬ」を作曲した日本音楽教育の功労者。
36	頸城区	希望館1階	大竹 謙治	おおたけ けんじ	1878	1956	頸城鉄道(現在の頸城自動車線)の創始者。
37			坂口 謹一郎	さかぐち きんいちろう	1897	1994	世界的な応用微生物学者。微生物が行う発酵について研究。歌人としての顔も。
38			関根 干城	せきね かんじょう	1857	1932	県議会議員。南川村長時代、鉄道を破壊し水難から住民を救った。
39	吉川区	吉川コミュニティプラザ3階	大瀧 傳十郎	おおたき でんじゅうろう	1861	1944	衆議院議員。金融機関への参画を通じ、県内全域の産業経済発展に寄与した。
40			小田 仁作	おだ にさく	1851	1919	農村の金融を担うため成資銀行を設立。
41			鈴木 昌司	すずき しょうじ	1841	1895	衆議院議員。上越地方を代表する豪農民権家、自由民権運動に生涯を捧げた。
42			高嶋 米峰	たかしま べいほう	1875	1949	新仏教運動を起し、新しい仏教の姿を追い求めた。第12代東洋大学学長。
43	中郷区	はーとびあ中郷1階	漆間 與三郎	うるま よさぶろう	1875	1958	中郷村長・名誉村民。日本電気亜鉛二本木工場(後の日本曹達)の誘致に努めた。
44			岡田 米吉	おかだ よねきち	1868	1941	生涯をかけて、郷土の民俗芸能の伝承と普及活動に力を注いだ。
45			陸川 三治	りくかわ さんじ	1887	1951	頸南地域で初めてトラック運送を開業。
46	板倉区	板倉コミュニティプラザ2階	高橋 達太	たかはし たつた	1867	1934	直江津に高橋回酒店を設立。石炭王と評されるようになる。
47			高橋 文質	たかはし ぶんしち	1860	1915	衆議院議員・高田新聞社長。新聞事業、油田開発など地域の発展に貢献。
48			中村 十作	なかむら じゅうさく	1867	1943	真珠養殖に出向いた宮古島で人頭税廃止運動に奔走。
49			増田 義一	ますだ ぎいち	1869	1949	衆議院議員。「実業之日本社」創設、日本の政財界に名を馳せた。
50	清里区	清里コミュニティプラザ1階	増村 朴齋	ますむら ぼくさい	1868	1942	有恒学舎を創設、新潟県教育会長も務めるなど郷土の教育発展に尽力した。
51			池田 和夫	いけだ かずお	1905	1945	綴方(作文)教育を実践、教育に命をかけた。文集、詩歌集も発行している。
52			笠尾 惣治	かさお そうじ	1848	1911	日本初の石油パイプライン敷設の立役者。
53			丸山 豊治郎	まるやま とよじろう	1868	1933	上越(高田)日報を創刊したほか、地域の簡易水道敷設にも取り組んだ。
54	三和区	三和コミュニティプラザ1階	上田 良平	うえだ りょうへい	1861	1951	県議会議員。自由民権運動家。30年にわたり上杉村長を務めた。
55			太田 孫次右衛門	おおた まごじうえもん	1852	1911	衆議院議員の後、赤倉温泉開発や知命堂病院創立に尽力。
56			東洋 越陳人	とうよう えつちんじん	1836	1916	自由を選び、旅をしながら創作にふけた。今も愛される頸城の文人画家。
57			富永 孝太郎	とみなが こうたろう	1866	1945	アメリカ留学から帰国後、信用組合の設立に尽くす。
58	名立区	名立コミュニティプラザ1階	富永 忠司	とみなが ちゅうじ	1879	1945	新潟医科大学長も務め、糖尿病の研究などのほか、地域医療の発展に尽くした。
59			江崎 長三郎	えざき ちょうざぶろう	1831	1902	建設の手引書『規矩階梯』天・地・人三巻を発行した、明治期の名工。
60			金子 富作	かねこ とみさく	1853	1935	名立谷石油株式会社を設立。名立油田の詳細な記録を残した。
61			竹田 環	たけだ たまき	1862	1911	県議会議員。地域振興のため、養蚕振興と、地域の学校施設の充実に取り組んだ。